

平成26年度 全国多自然川づくり会議 発表事例概要

テーマ：「計画・検討・予備設計段階の事例」

第1分科会 <会場501>

No	発表題名	地域	水系名/河川名	直轄/補助 (級別)	発表者	所属部署		事例の概要	代表 事例 ○記入
						機関	部・事務所		
1	狩山川多自然川づくり～河床の安定と魚類等の再生を目指して～	四国	仁淀川水系 狩山川	補助(1級)	みやじ けんいち 宮地 賢一	高知県	中央西土木事務所 越知事務所	狩山川では落差工により魚類の移動が妨げられており、魚道が存在するものの、落差工の下流部の河床洗掘が大きいことや、魚道に損傷があるなどの要因により遡上が困難となっている。これらの課題を解消するための対策工を実施した。	
2	札内川における礫河原再生の取り組みについて	北海道	十勝川水系 札内川	直轄(1級)	たかはし てるよし 高橋 輝好	北海道開発局	帯広開発建設部	・平成24年度から実施している札内川の礫河原再生の取り組みについて、各種調査の成果を報告する。	
3	大和川自然再生事業 ～大和川における瀬・淵整備の考え方について～	近畿	大和川水系 大和川	直轄(1級)	ふるかわ ひかり 古川 光里	近畿地方整備局	大和川河川事務所	大和川自然再生事業は平成25年度から瀬・淵再生、水際植生の整備及びモニタリングを進めている。H25年度施工箇所についてのモニタリングを参考に、今後の大和川における瀬・淵の整備の手法について検討する。	
4	和賀川自然再生事業の取り組み	東北	北上川水系 和賀川	直轄(1級)	かまだい たけし 釜台 健	東北地方整備局	岩手河川国道事務所	・地域の団体との協働による湿地再生への取り組み事例紹介	
5	多自然川づくりアドバイザー制度を活用した景観設計	中国	厚狭川水系 厚狭川	補助(2級)	なかわら さとし 中村 聡	山口県	河川課	平成22年度7月10日から15日にかけての梅雨前線に伴う大雨により、二級河川厚狭川及び支川桜川がはん濫し、山陽小野田市において甚大な浸水被害が発生したことから、再度災害防止を図るため激特事業により河川改修を計画した。設計に当たっては、「多自然川づくりアドバイザー制度」を活用し、厚狭川的环境保全や景観に配慮した設計を行っている。今回はその計画事例を紹介する。	
6	名勝復活“白糸の滝”～歴史・文化と結びつけた川づくり～	中部	富士川水系 芝川	補助(1級)	よしむら みつまさ 吉村 光正	静岡県	富士土木事務所	・“白糸の滝”は、これまでの観光開発等により、景観や歴史的文化的価値を大きく損ない、名勝とは言い難い状況にあったため、本質的価値の回復・向上を図り、富士山世界文化遺産の構成資産として登録されるべく、各関係団体と連携して滝つぼ周辺の河川整備を行った事例について紹介する。	
7	大橋川改修の計画・設計プロセス ～松江らしい“風景”の保全・再生の取り組み～	中国	斐伊川水系 大橋川	直轄(1級)	えんどう ひろゆき 遠藤 寛之	中国地方整備局	出雲河川事務所	中海と宍道湖を繋ぐ大橋川(全長7.6km)は、多様な自然環境と古くから人との関わりを感じさせる景観を有する河川であり、河川改修にあたっては自然環境と景観の保全・再生が多くの市民から求められている。 今回は、住民との合意形成や専門家の指導・助言等を踏まえた計画・設計プロセスの一例として向島地区、竹矢矢田地区の取り組み事例を紹介する。	

平成26年度 全国多自然川づくり会議 発表事例概要

テーマ：「詳細設計・施工段階の事例」

第2分科会 <会場 503>

No	発表題名	地域	水系名/河川名	直轄/補助 (級別)	発表者	所属部署		事例の概要	代表 事例 ○記入
						機関	部・事務所		
1	一級河川雫石川河川等災害関連事業における多自然川づくり ～詳細設計・発注段階～	東北	北上川水系 雫石川	補助(1級)	まくち 菊池 たかむさ 崇尚	岩手県	盛岡広域振興局	・河川等災害関連事業における多自然川づくり配慮事項（設計・発注段階） ・河畔林保全、親水施設、護岸ブロック選定、河岸水際処理	
2	仙台市における多自然川づくり事例	東北	名取川水系 大柴沢、獺 沢川	準用河川	いなぎ 稲垣 のりあき 憲明	仙台市	建設局百年の杜推進部 河川課	・大柴沢では、景観や環境に配慮した護岸詳細設計を行った。 ・獺沢川では、施工者希望型により環境に配慮した護岸ブロックを採用するとともに、自然な変化を持つ河岸・水際が形成されるような河床堆積土砂撤去に取り組んだ。	
3	一級河川遠山川における多自然川づくりについて	関東	天竜川水系 遠山川	補助(1級)	たかはし 高橋 まさし 雅	長野県	下伊那南部建設事務所	(-)遠山川、飯田市南信濃和田地区の河床低下対策について、地域住民と協働で実施した川づくりの目標設定、多自然川づくりの観点を取り入れた計画及び工事について報告する。	
4	樋井川床対事業における河床安定工法について	九州	樋井川水系 樋井川	補助(2級)	ながい 永井 ともゆき 智幸	福岡県	福岡県土整備事務所	・生物移動の連続性、景観性に配慮した河床安定工法である早瀬工、瀬淵工の設計、施工を産学官の協働により行った。	
5	ホタルの生息環境に配慮した河床掘削工法の取り組み	中部	木曾川水系 杭瀬川	補助(1級)	さかいだ 坂井田 たかし 崇	岐阜県	大垣土木事務所	・河床掘削を行うにあたり、ゲンジボタル（大垣市天然記念物）及び水生生物の生息環境の保全・創出を行った事例の紹介。	
6	大津田川河川改修事業における環境配慮の取り組み	四国	那賀川水系 大津田川	補助(1級)	あんどう 安藤 すくる 俊	徳島県	県土整備部	大津田川周辺は植物に関する希少種（スゲ類、コウホネ類等）が確認されていることから、徳島県が委嘱する土木環境配慮アドバイザーから助言を頂き、環境保全措置をとりながら事業推進を図っている。	
7	河道樹林化の抑制と水衝部対策について	関東	利根川水系 渡良瀬川	直轄(1級)	まちい 町井 さとる 悟	関東地方整備局	渡良瀬川河川事務所	急流河川である渡良瀬川では、河道内樹林化の抑制と水衝部の緩和を目的とした掘削路工事を行っている。本発表は、掘削路について、対策の効果、洪水前後モニタリング結果などを報告するものである。	

平成26年度 全国多自然川づくり会議 発表事例概要

テーマ：「管理・モニタリング段階の事例」

第3分科会 <会場 5C>

No	発表題名	地域	水系名河川名	直轄／補助 (級別)	発表者	所属部署		事例の概要	代表 事例 ○記入
						機関	部・事務所		
1	忠別川における河道整正後のモニタリングについて	北海道	石狩川水系 忠別川	直轄(1級)	やそしま く 八十嶋 邦 にひで 英	北海道開発局	旭川開発建設部 旭川河川事務所	・滞筋の固定化と砂州の陸域化解消を目的として平成21年に実施した工事について、河道断面の考え方と施工後に実施した各種調査結果についての経過報告	
2	関川における河道掘削形状による自然再生促進の試み	北陸	関川水系 関川	直轄(1級)	ひとみ つかさ 人見 司	北陸地方整備局	高田河川国道事務所	関川における流下能力確保のための河道掘削（河岸掘削）に際して、掘削形状を工夫することで良好な自然環境の回復促進を図る。	
3	詳細設計段階及び工事施工後の取り組みについて (河道掘削工事実施後1年目の取り組みの紹介)	中国	佐波川水系 佐波川	直轄(1級)	むらかみ ともあき 村上 友章	中国地方整備局	山口河川国道事務所	・河道掘削の設計を行う中で実施箇所の特性や関係機関から要望、学識者とのヒアリング内容を踏まえて配慮すべき事項や掘削断面を決定し、実際に掘削工事を実施したところである。発表では、前年度の検討内容の紹介とともに、施工後1年目の状況や管理・モニタリングの取り組みについて紹介する。	
4	重信川河口域におけるヨシ原再生モニタリング状況について	四国	重信川水系 重信川	直轄(1級)	やまかわ まさひろ 山川 正泰	四国地方整備局	松山河川国道事務所	重信川河口域におけるヨシ原再生事業のモニタリング状況報告	
5	急流河川における「巨石付き盛土砂州を用いた河岸防護工」の効果検証	北陸	常願寺川水系 常願寺川	直轄(1級)	とくしま みゆき 徳島 美幸	北陸地方整備局	富山河川国道事務所	急流河川対策として「巨石付き盛土砂州を用いた河岸防護工」を現地施工したところ、治水効果だけでなく、自然環境にも配慮された工法であることが確認された。	
6	水辺の緑の回廊事業についてのモニタリング	中部	庄内川水系 矢田川 他	補助(1級) 他	いまいずみ まこと 今泉 誠	愛知県	建設部河川課	・愛知県では、「水辺の緑の回廊事業」を平成9年度より実施している。本事業により植樹した樹林を調査し、景観的、生態学的、地域的な課題を整理したので報告する。	
7	遠賀川水系エコロジカルネットワークについて	九州	遠賀川水系 彦山川 外	直轄(その他)	なかしま まさゆき 中嶋 将之	九州地方整備局	遠賀川河川事務所	・既存の樋門・樋管の改良を行ない、川表と川裏の空間的な連続性を確保すると共に、多自然水辺空間を創出を行なった。	

平成26年度 全国多自然川づくり会議 発表事例概要

テーマ：「懸案・課題、継続報告の事例」

第4分科会 <会場 5D>

No	発表題名	地域	水系名/河川名	直轄/補助 (級別)	発表者	所属部署		事例の概要	代表 事例 ○記入
						機関	部・事務所		
1	流水型ダムにおける貯水池内の多自然川づくり	九州	新川水系 新川	補助(2級)	こすぎ じゅん 小杉 淳悟	鹿児島県	土木部 河川課	・流水型ダムの貯水池において、樹木・草本の繁茂を低減させると共に、当地区の原風景を再生できるよう住民参加型の景観検討を行なった。	
2	タブノキ林伐採事故に学ぶ	近畿	淀川水系 犬上川	補助(1級)	なかい たつろう 中井 達郎	滋賀県	流域政策局 河川・港湾室	犬上川では、河畔林のタブノキ林が特定植物群落に選定され、治水と環境の両立を目指す改修計画を策定した。しかし、平成24年の工事実施に当たり、保全すべきタブノキ林の一部を伐採してしまったため、その原因・経過を踏まえ、再発防止策を講じるとともに、職員の河川環境の整備と保全について認識を深める取り組みを行う。	
3	官民学協働による「淵」再生	近畿	矢田川水系 矢田川	補助(2級)	たかはら こうた 高原 鴻太	兵庫県	新温泉土木事務所	日本海へ注ぐ矢田川にはかつて「弁天淵」と呼ばれ、地域住民に親しまれた淵が存在したが、いまでは河道の変化により消失した。地元からの淵再生への強い思いを受け、住民参画のもと行政と大学・高校が連携し淵再生に取り組む。	
4	隈川の多自然川づくりについて	北海道	常呂川水系 隈川	補助(1級)	こくほ たかひろ 小窪 崇浩	北海道	網走建設管理部 北見出張所	・計画段階から魚類等の生息、生育、産卵環境に着目し、保全や復元の取組を進めている事例。 ・平成24年度発表事例のその後の経過報告	
5	菊沢川改修計画について ～ナガレコウホネの保全とモニタリング～	関東	利根川水系 菊沢川	補助(1級)	あらはた もとゆき 荒畑 元就	栃木県	河川課	・河川環境調査を行い、希少種の保全のための改修計画を作成した。 ・河川改修により失われる群落を移植し、モニタリング調査を行った。	
6	紫川におけるアユの産卵場創出について	九州	紫川水系 紫川	補助(2級)	さきやま たかし 崎山 貴司 さかくち みつあき 坂口 満昭	福岡県	北九州県土整備事務所	・河川改修により消失の恐れがあるアユの産卵場の環境特性を調査。 ・調査結果を踏まえ、分析・実験を行い、人為的なアユの産卵場の創出について、その可能性を探る。	
7	黒部川におけるサクラマス等の生息環境の把握について	北陸	黒部川水系 黒部川	直轄(1級)	しいだ かずや 飯田 和也	北陸地方整備局	黒部河川事務所	黒部川では、近年サクラマス資源が回復傾向となっている。今後の河川整備を実施するにあたり、サクラマス等の生息環境に配慮した河川整備が必要であり、H26年にサクラマスの生息環境調査を実施した。今回の調査結果などを基に今後取り組むべく調査等について引き続き検討を実施していく。	